

科目名	文明と遺産 I				担当教員	貴井万里			
学年	1年	クラス	1	開講学期	後期	開講時期	後期	曜日・時限	火5
授業の目的 到達目標	<p>【授業の目的】 「文明と遺産 I」の授業は、世界各国の様々な世界遺産を学ぶことを通して、世界の広さ、奥深さ、美しさを知るとともに、世界の文明がどのような形で発展し、継承されてきたのかを考察する。加えて、この授業を受けることで、単に知識を増やすだけではなく、NPO法人世界遺産アカデミーが主催する「世界遺産検定3級」（文科省認可）の合格を目指し、「総合旅行業務取扱管理者試験」（国家試験）の地歴分野に役立つ知識を獲得することができる。現在、1000を越した世界遺産は、文化遺産、自然遺産、複合遺産に分類され、年々増加しているが、3級で対象としているのは100の遺産であり、この講義を受け、予習復習を十分に行えば、「世界遺産検定」の3級合格は可能である。事実、2016年度は学内で80%以上の合格を輩出している（2級については「文明と遺産 II」で扱う）。試験前の対策も行う予定である。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●世界遺産の基礎知識について説明できる。 ●授業で学んだ100の世界遺産について特徴や魅力を説明できる。 ●「世界遺産検定3級」合格できる程度の知識を身につける。 								
学習演題 予習・復習	<p>1. イントロダクション / 世界遺産検定の説明 2. 世界遺産の基礎知識 3. 日本の世界遺産 1 4. 日本の世界遺産 2 5. 日本の世界遺産 3 6. 人類の誕生と古代文明 7. ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代 8. アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明 9. アジア世界の形成と宗教 10. 12月の世界遺産検定試験対策 11. 近代国家の成立と世界の近代化 12. テーマでみる世界遺産 13. 危機遺産、負の遺産 14. 世界の自然遺産 15. まとめ 16.</p> <p>1. 予習 90分程度 第1回 シラバスを予め読んで理解する。 第2回～13回 授業前に必ず指定教科書の該当箇所を読み、該当箇所の世界遺産についての概要を理解しておくこと。また、同時に国名や地名などを地図で確認しておくこと。「事項事典」「地名事典」「人名事典」などは図書館を利用して事前に調べておくこと。 第14回～15回 前期の授業のノートとプリントを読み直し、学んだ内容をノートにまとめること。</p> <p>2. 復習時間（各90分程度） 第1回 イントロダクションの内容を振り返り、前期の授業の流れを理解する。 第2回～13回 授業の内容をプリントやノート、教科書を見返して復習すること。 第14回～15回 前期の授業のノートとプリントを読み直し、学んだ内容をノートにまとめること。</p> <p>3. 試験勉強 12月の遺産検定及び期末試験に向けて、11月から12月にかけて改めて教科書とノート、プリントを読むこと。世界遺産検定を受ける受講者は、参考書の『世界遺産検定公式過去問題集3・4級』を活用することが望ましい。</p>								
授業方法	<p>1. 授業は教科書を基に、テーマ毎に講義形式で進める。 2. 毎回、レジュメをかねた小レポート（リアクション・ペーパー）を課す。 3. 授業冒頭では、リアクションペーパーを使用しながら授業内容を振り返り、また評価に関してはフィードバックして、授業内で講評する。 4. 学期中に1回、グループ対抗クイズなど、復習とゲームを兼ねた学習方法を考案し、実施することを検討している。</p>								
成績評価の基準	<p>毎回、出される小レポート（リアクション・ペーパー）によって評価する（30%）。定期末には試験を行う（60%）。実習、就職活動などで欠席した場合は、「公欠届」を提出すること。なお、検定試験の受験者は「チャレンジ点」を加点（10%）する。</p>								
教科書	『きほんを学ぶ世界遺産 100 世界遺産検定 3級公式テキスト（第3版）』世界遺産アカデミー（著）／世界遺産検定事務局（監修）／マイナビ発売、ISBN：978-4-8399-7565-4、2021年3月、定価：¥1595（税込み）								
参考書	『世界遺産検定公式過去問題集 3・4級 2021年度版』世界遺産アカデミー（著）／世界遺産検定事務局（監修）／マイナビ発売、ISBN：978-4-8399-7579-1、2021年3月、定価：¥1430（税込み）								